

## 5. 公園の利活用・適正化における推進方策

### (1) 再編の効果を確認する指標

本計画を効果的かつ効率的に推進するためには、誰もが分かりやすく、定量的に把握できる指標を示す必要があることから、基本目標である魅力ある地域の公園に対して「市民満足度の向上」、持続可能な公園に対して「維持管理コストの縮減」の目標指標を設定します。

#### ■目標指標1

指 標	現状値 令和7年度	目標値 令和17年度
「公園の状況」の市民満足度	62.9%	67.0%

※豊川市市民意識調査の「公園の状況」に関する満足度の程度の問題について、「満足」、「まあ満足」と答えた人の割合とする。

※目標値は第7次豊川市総合計画と同値とする。

#### ■目標指標2

指 標	現状値 令和5年度	目標値 令和17年度
維持管理コストの縮減率	—	縮減率 20% ※実施した各地区の平均 (令和5年度比)

※維持管理コストは公園施設管理費、植栽管理費等の公園管理費全般を対象とする。

※再編整備は各公園の大規模改修に併せて進めるものとする。

※目標値は再編整備を実施した地区の維持管理コストの縮減率とする。

## (2) 推進方策及び施策

次ページの各施策を地区別公園再編方針に基づき適宜実施していきます。

■推進方策及び施策一覧

目指すべき姿	基本目標	基本方針 (対応する主な課題)	推進方策
地域に愛される”暮らしを豊かにする空間”としての公園の再生	魅力ある地域の公園・持続可能な公園	<b>①公園機能の適正な再配分</b> 課題1 量より質を高める公園整備 課題2 公園配置の見直し 課題3 利用実態に適合した機能配置	公園の整備 身近な小さな公園の見直し、集約・統合 長期未整備の都市計画公園の見直し
		<b>②公園の利活用の推進</b> 課題1 量より質を高める公園整備 課題2 公園配置の見直し 課題3 利用実態に適合した機能配置 課題4 公園が使いやすい柔軟な使い方への転換、利用機会づくり 課題7 公園に関わる活動団体への支援や負担軽減	既存公園の施設改修 学校や公共施設等と連携した公園利活用の促進 地域の団体等による公園利活用の促進 他部局連携による公園の利活用の促進 緑や散策等のネットワークルート形成の検討
		<b>③公園の柔軟な管理運営</b> 課題2 公園配置の見直し 課題3 利用実態に適合した機能配置 課題4 公園が使いやすい柔軟な使い方への転換、利用機会づくり 課題5 更新時期にある公園の再整備 課題6 限られた財源を踏まえた整備、管理運営 課題7 公園に関わる活動団体への支援や負担軽減	公園の管理水準の向上 地域ニーズを反映した公園の維持管理の促進 柔軟な利活用の推進 賑わい創出のための地域連携 管理運営手法の検討

施 策	目標指標 1. 市民満足度向上 2. 維持管理コストの縮減	進行管理	
		短期 (概ね5年)	中長期 (5～10年)
・既存公園の再整備及び新規公園整備の検討	1・2		
・配置や公園機能の見直し、施設数量の適正化、削減、集約・統合の検討	1・2		
・長期未整備の都市計画公園の今後の方向性、事業化の検討	1・2		
・公園施設長寿命化計画に基づく施設の改修	1・2		
・市民開放等による学校や公共施設等と連携した公園活用の推進を検討 ・コミュニティ施設と連携することにより相乗効果が発揮されるコミュニティ型公園の配置	1・2		
・地域における多様な主体との協働による管理運営	1・2		
・子育て、健康づくり、防災等の事業を展開する場としての利活用推進	1・2		
・主要河川沿い公園について散策路利用の向上を図る一部改修(佐奈川、音羽川、旧東海道沿い)	1		
・劣化した樹木削減等の維持管理しやすい公園施設への見直し	1・2		
・当該公園の利用状況に適合した公園の維持管理を地域と連携	1・2		
・公園利用に関するローカルルールを作成 ・ボール遊びに関するルールやマナーについて現状の周知、啓発	1		
・地域の核となる公園でのイベントの実施、実施補助	1		
・公募設置管理制度 (Park-PFI)、指定管理者制度の活用等を含め、効率的で活力のある公園運営につながる新たな管理運営手法の検討	1・2		